

建築研究所 ニュース



平成21年12月21日

中国四川大地震の復興支援「耐震建築人材育成プロジェクト」として 行われた「中国耐震建築研修」の研修生第一陣が帰国

10月下旬より約2ヶ月間、(独)建築研究所・国際地震工学センターにおいて実施された「中国耐震建築研修」の研修修了生(第一陣20名)が、12月22日の閉講式を迎え参加したのち、このたび帰国することになりました。本研修は昨年5月に発生した中国四川大地震に対する日本政府の復興支援のため(独)国際協力機構(JICA)が実施する「耐震建築人材育成プロジェクト」の一環として中国からの研修生に対し、建築物の耐震設計・診断・補強に関する研修が全3カ年の計画で行われています。

(独)建築研究所・国際地震工学センターでは、これまで96ヶ国から1,404名を受け入れて国際地震工学研修を実施してきた実績を活かし、中国四川大地震の被害を受けた四川省建築研究所主任技師等、中国全土からの20名の構造技術者等を対象に、10月28日より12月22日までの約2カ月間のスケジュールで「中国耐震建築研修」(今年度分)を実施いたしました。

研修生は全員熱心に講義・見学に参加し、研修修了生のチョウ・イピンさん(四川省建築設計院 総エンジニア)は、「日本の耐震建築及び防災減災技術を学ぶことができ、それにより得た知識や経験は今後の業務に大変参考になるとともに、講師の真摯で熱心な指導にも深い感銘を受け、このような研修の機会を与えていただいたことに心より感謝し、今後、日本との交流及び技術協力がより一層強固なものになることを希望します。」と語っています。

本研修によって、耐震技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物についての耐震技術が今後益々普及することが期待されます。



<参考1：閉講式の日程>

中国耐震建築研修 閉講式

日時：平成21年12月22日（火）16:00～

場所：(独) J I C A筑波国際センター
(つくば市高野台3-6)

<参考2：研修の概要>

研修期間：平成21年10月28日（水）～12月22日（火）

場所：(独) 建築研究所

参加者：中国構造技術者20名

主な講義内容

耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など

(内容及び閉講式取材の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 国際地震工学センター

管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp